

講演部門 報告

報告:沼田 栗実

担当者 エイズ出前授業:沼田 HIV のリアルを伝える:秋山

●概要:学生、専門職(病院・企業・行政・介護施設・社会福祉施設・就労移行支援施設などを含む)、保護者向け講演をおこなう。

●目的:HIV/エイズに関する知識の普及により、HIV 陽性者への理解促進、予防意識の向上を目指す。
年齢に合わせた性の健康教育を実施し、心身の大切さ、守り方を伝える。
HIV に感染する仕組み、HIV 陽性者の通院・治療・医療費、最新の HIV 治療の常識や HIV 陽性者の抱えている問題などについて、生の声を伝える。

●経過:

- ① 2021年度も引き続き、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の流行により、どこも外部講師を呼ぶことや出向くことが難しい年であったが、NPO 法人星槎さっぽろ教育センター 放課後等デイサービス「星の音」様から依頼があり、エイズ出前授業を行った。
- ② 上記講演に向けて、講演スタッフで複数回集まり、講演内容について話し合う機会を持てた。

●結果・効果:

- ① 2021 年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響も感じながらも、1 件の講演の依頼があり、実施することができた。
- ② 初めてのフリースクールでの講演であったので、幅広い年齢層を対象とする講演であった。そのため、パネルを使用した伝え方、色水ワーク等、視覚的に学び、参加型の講演を実施した。
- ③ 2021 年度の短期目標に掲げていた「スタッフの学習機会を捉え、勉強会を積極的に実施し、参加を促していくことで、知識のアップデート及びスキルアップを図る。」も、企画することが難しかった。しかし、各々のスタッフが、外部研修等に参加し、自己研鑽を図り大きな吸収があった。

●課題:

- ① 講演依頼がない年が続いていたため、スタッフのスキル維持が懸念していた。実際、久しぶりの講演で話したが、伝え方の工夫やワークの仕方、時間配分等の課題が見えた。そのため、さまざまなテーマ、さまざまな講師で、スタッフのスキルアップにつながるミニ内部勉強会を開催していきたい。
- ② 講演デビューしていないスタッフのアシスタントスキルが高いため、講演デビューができる機会を持ちたい。
- ③ 外部に出向くのが難しい社会情勢や道内の遠方からの講演依頼があることを鑑み、Web ツールを利用した講演活動も検討していきたい。
- ④ スタッフ間でコミュニケーションを綿密に取れるよう、2022 年度も年に 1~3 回くらいの頻度で、zoom やスカイプ等を利用しながら、話し合いの場を設け、情報共有をして行く。
- ⑤ 平日に活動できる講演スタッフの獲得と継続的なスタッフ育成を引き続き行って行く。
- ⑥ 引き続き、講演先の依頼条件の検討(随時)と講演部門の HP の内容改訂を検討し、外部から講演活動に対して、アクセスしやすい環境を作っていき、積極的に広報を考えて行く。

※2021年度の講演部門実績

● エイズ出前授業

実施日	主催	講演内容等	講師
2021年11月20日	NPO 法人 星槎さっぽろ教育センター 放課後等デイサービス「星の音」	エイズ出前授業	生田 多賀子 沼田 栗実